

潟建発第 109 号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 様

潟上市長 石川 光男



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別添のとおり回答します。

連絡先：潟上市役所 産業建設部
建設課 建設班 菅原 撰
TEL：018-855-5118／FAX：018-877-4466
E-mail：osamu282@city.katagami.lg.jp

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

秋田県 湯上市

道路は、豊かな地域社会の実現と経済・産業の活性化に欠かすことのできない、基礎的かつ重要な社会資本です。

しかし、公共事業費が年々削減される状況下にあつて、生活幹線道路の整備をはじめ産業・経済・文化の発展に効果を発揮する道路ネットワークの整備は、十分に進められていないのが実情です。

本年、6月27日に閣議決定された「経済財政改革の基本方針2008」には、平成21年度から道路特定財源を一般財源化することが明記され、道路整備を取り巻く環境は非常に厳しく地方自治体が進めている道路整備の遅れが危惧されているところです。国におかれましては、公共交通機関が整っている大都市と、その整備が遅れている地方とでは道路整備に対する住民の意識に違いがあることと地方の声や実情を十分に認識され、必要な道路整備の実現のため次のとおり要望します。

1. 道路特定財源の一般財源化にあたっては、納税者の意見を踏まえ地方への影響を検証しながら財源配分のあり方などを含め、必要な道路整備財源を確保。
2. 新たな整備計画の策定にあたっては、地方の意見が反映される仕組みを取り入れる。
3. 地域の実情に柔軟に対応する交付金制度の拡充と継続。
4. 本市道路網の幹線である国道7号、追分三叉路以北の四車線化の早期実現。

②－１ 地域の現状と抱える課題

秋田県 湯上市

○現状

本市の南に秋田市が隣接しているため、人・モノの流れに沿って、国・県道等の幹線道路も南北の道路が中心となっている。

今後はこれらを活かした地域間交流、特に市町村合併に起因する公共施設間のスムーズな移動など、安全性と利便性に富み、かつ体系的にネットワーク化された道路網の整備が必要となっている。

○課題

1. 道路ネットワークの樹立
 - ・交通危険箇所、幅員狹隘区間の解消。
2. 幹線道路・生活道路の整備
 - ・主要通学路への歩道の整備
3. 道路維持の充実
 - ・都市化による道路冠水の解消
 - ・災害・緊急時の道路交通の強化
4. 除排雪体制の充実
 - ・除雪事業の充実と強化

②－２ 地域の目指すべき将来像

秋田県 潟上市

ふれあいを支える公共交通体系の整備

高速交通体系と幹線道路、生活道路が有機的に結びつき、市民が安全に移動・交流できるよう、道路ネットワークの確立を進める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

秋田県 潟上市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性、 利便性の向上	追分西 18 号線の新設、及び追分下出戸線の舗装補修	渋滞が慢性化していた国道 7 号追分三叉路の交通量を分散化させることにより、通過時間の短縮を図る。	
地域活力の向上	大清水下谷地線、及び街道下線の改良	工業団地の利便性向上のため、アクセス道路を改善し、新規企業の進出を促進する。	